

2023年度

授業概要

科目名	言語発達障害治療学②			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	23 回	時間数	45 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	ST2年 通年
【授業の目的・ねらい】 VTR評価と実践的なかわりを通して、現場に近い形での評価を行う力を身につけることができる。							
【実務者経験】 ・岡山かなりや学園、まな星クリニックにて、言語聴覚士として小児の聴覚障害および発達障害分野の療育に従事する。 ・言語聴覚士としてこども発達サポートセンター、野間こどもクリニックなどで発達障害児の言語聴覚療法に従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 学内での小児セラピーへの参加を通して児との接し方や言語療法の実際を体験的に学び、観察・評価・目標設定などについて基本的な知識と技術を身につける。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 対象児を観察する力が身につき、基本的な評価が行える。 対象児への適切な関わりの知識と技術が身につく。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	セラピーのねらいやプログラムの内容について、概要を説明できる						教科書
17	グループセラピーができる⑤						教科書
18	VTRにて丁寧な観察が行える						教科書
19	セラピーのねらいやプログラムの内容について、概要を説明できる						教科書
20	グループセラピーができる⑥						教科書
21	セラピーのねらいやプログラムの内容について、概要を説明できる						教科書
22	グループセラピーができる⑦						教科書
23	まとめ						教科書
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版							
【準備学習・時間外学習】 小児関係の講義内容を復習しておくこと。 主に定型発達の理解と臨床場面で使用する検査を理解しておくこと。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。							